

家庭、地域、学校が協力して子どもたちにあいさつの習慣を

教頭 佐々木 朗

子どもたちと毎日接していてよく思うのが、「もう少し元気よくあいさつができたらいいなあ。」ということです。

そこで、今年度、全職員で意識して子どもたちに大きな声であいさつの声かけをするようにしました。最近では、朝の「おはようございます。」という声も大きくなってきたように思います。

もちろん子どもたちが元気にあいさつすることができるようになるためには、学校だけの力ではできません。ご家庭の力も必要です。みなさんのご家庭では、家族同士「おはよう」のあいさつはありますか。また、「いただきます。」「ごちそうさま。」「ありがとう。」「ごめんなさい。」などの言葉が子どもたちの生活環境に溶け込んでいるでしょうか。

また今後あらゆる機会を通して、地域の人たちにも、子どもたちへの声かけをお願いし、地域ぐるみで子どもたちとのあいさつの輪を広げていきたいと考えます。

たった一言のあいさつでも、心が弾むものです。学校、家庭、地域が手を取り合って、元気にあいさつする子どもたちを育てていきましょう。